

# 令和3年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	高知県		市町村類型	1-2		指定団体等の指定状況		区分		令和3年度(千円)	令和2年度(千円)	区分		令和3年度(千円・%)	令和2年度(千円・%)																																																																																																																																																																																						
						財政健全化等	×	歳入総額	4,609,877			4,212,598	実質収支比率			2.8	3.6																																																																																																																																																																																				
市町村名	田野町		地方交付税種地	2-2		財源超過	×	歳出総額	4,555,780	4,099,555	経常収支比率	83.3	88.2																																																																																																																																																																																								
人口	令和2年国調(人)	2,498	産業構造(※5)		首都	×	歳入歳出差引	54,097	113,043	(※1)	(83.3)	(90.7)																																																																																																																																																																																									
	平成27年国調(人)	2,733			近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	8,647	59,823	標準財政規模	1,638,415	1,489,021																																																																																																																																																																																									
	増減率(%)	-8.6			中部	×	実質収支	45,450	53,220	財政力指数	0.19	0.20																																																																																																																																																																																									
住民基本台帳人口(※7)	令04.01.01(人)	2,553	第1次	過疎	○	歳入歳出収支	-7,770	3,605	公債費負担比率	15.4	15.1																																																																																																																																																																																										
	うち日本人(人)	2,546		低開発	×	積立金	4,803	4,101	健全化判断比率																																																																																																																																																																																												
	令03.01.01(人)	2,606	第2次	山振	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																																										
	うち日本人(人)	2,598		指数表選定	○	積立金取崩し額	0	0	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																																										
	増減率(%)	-2.0		基礎財政収入額	265,624	274,458	資金不足比率(※4)																																																																																																																																																																																														
	うち日本人(%)	-2.0	第3次	標準財政需要額	1,519,208	1,380,929																																																																																																																																																																																															
	面積(km <sup>2</sup> )	6.53		標準税収入額等	331,177	343,755																																																																																																																																																																																															
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	383	経常経費充当一般財源等	1,333,885	1,309,421																																																																																																																																																																																																	
世帯数(世帯)	1,170	歳入一般財源等	1,908,140	1,910,364																																																																																																																																																																																																	
職員の状況																																																																																																																																																																																																					
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	3,968,856	2,889,041																																																																																																																																																																																										
	市区町村長	1	7,000	一般職員		44	125,752	2,858	うち公的資金	2,914,882	2,001,031																																																																																																																																																																																										
	副市区町村長	1	6,110	うち消防職員		-	-	-	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	3,254,568	2,112,542																																																																																																																																																																																										
	教育長	1	5,660	うち技能労務職員		-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	126,542	109,223																																																																																																																																																																																										
	議会議長	1	2,380	教育公務員		6	15,972	2,662	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																																																										
	議会副議長	1	1,920	臨時職員		-	-	-	土地開発基金現在高	59,208	59,208																																																																																																																																																																																										
	議会議員	8	1,650	合計		50	141,724	2,834	積立金現在高	351,664	346,861																																																																																																																																																																																										
					ラスバイレ指数				96.0	減債基金	667,033	540,827																																																																																																																																																																																									
<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧</td> <td>事業会計の一覧</td> <td>公営企業(法適)の一覧</td> <td>公営企業(法非適)の一覧</td> <td>関係する一部事務組合等一覧</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧</td> </tr> <tr> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(2)</td> <td>国民健康保険特別会計</td> <td>(4)</td> <td>簡易水道事業特別会計</td> <td>(5)</td> <td>安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(3)</td> <td>後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td>(6)</td> <td>高知県広域食肉センター事務組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(7)</td> <td>安芸広域市町村圏事務組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(8)</td> <td>安芸広域市町村圏事務組合(滞納整理事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(9)</td> <td>中芸広域連合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10)</td> <td>中芸広域連合(介護保険事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11)</td> <td>こうちんづくり広域連合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12)</td> <td>高知県市町村総合事務組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>高知県市町村総合事務組合(交通災害共済事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14)</td> <td>高知県後期高齢者医療広域連合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名								(※3)	(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(4)	簡易水道事業特別会計	(5)	安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合(一般会計)											(3)	後期高齢者医療特別会計			(6)	高知県広域食肉センター事務組合(一般会計)															(7)	安芸広域市町村圏事務組合(一般会計)															(8)	安芸広域市町村圏事務組合(滞納整理事業特別会計)															(9)	中芸広域連合(一般会計)															(10)	中芸広域連合(介護保険事業特別会計)															(11)	こうちんづくり広域連合(一般会計)															(12)	高知県市町村総合事務組合(一般会計)															(13)	高知県市町村総合事務組合(交通災害共済事業特別会計)															(14)	高知県後期高齢者医療広域連合(一般会計)								
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																																																																																																
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名								(※3)																																																																																																																																																																																						
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(4)	簡易水道事業特別会計	(5)	安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合(一般会計)																																																																																																																																																																																														
		(3)	後期高齢者医療特別会計			(6)	高知県広域食肉センター事務組合(一般会計)																																																																																																																																																																																														
						(7)	安芸広域市町村圏事務組合(一般会計)																																																																																																																																																																																														
						(8)	安芸広域市町村圏事務組合(滞納整理事業特別会計)																																																																																																																																																																																														
						(9)	中芸広域連合(一般会計)																																																																																																																																																																																														
						(10)	中芸広域連合(介護保険事業特別会計)																																																																																																																																																																																														
						(11)	こうちんづくり広域連合(一般会計)																																																																																																																																																																																														
						(12)	高知県市町村総合事務組合(一般会計)																																																																																																																																																																																														
						(13)	高知県市町村総合事務組合(交通災害共済事業特別会計)																																																																																																																																																																																														
						(14)	高知県後期高齢者医療広域連合(一般会計)																																																																																																																																																																																														

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」「猶予特例債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※8: 職員の状況については、令和3年地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	256,431	5.6	256,431	16.0	普通税	256,431	100.0	-	
地方譲与税	14,602	0.3	14,602	0.9	法定普通税	256,431	100.0	-	
利子割交付金	491	0.0	491	0.0	市町村民税	106,039	41.4	-	
配当割交付金	1,426	0.0	1,426	0.1	個人均等割	4,252	1.7	-	
株式等譲渡所得割交付金	1,904	0.0	1,904	0.1	所得割	87,595	34.2	-	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	6,465	2.5	-	
地方消費税交付金	63,957	1.4	63,957	4.0	法人税割	7,727	3.0	-	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	固定資産税	108,981	42.5	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	107,961	42.1	-	
自動車取得税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	11,825	4.6	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	29,586	11.5	-	
自動車税環境性能割交付金	725	0.0	725	0.0	鉱産税	-	-	-	
法人事業税交付金	2,679	0.1	2,679	0.2	特別土地保有税	-	-	-	
地方特例交付金等	5,181	0.1	5,181	0.3	法定外普通税	-	-	-	
個人住民税減収補填特例交付金	1,557	0.0	1,557	0.1	目的税	-	-	-	
自動車税減収補填特例交付金	234	0.0	234	0.0	法定目的税	-	-	-	
軽自動車税減収補填特例交付金	156	0.0	156	0.0	入湯税	-	-	-	
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	3,234	0.1	3,234	0.2	事業所税	-	-	-	
地方交付税	1,362,564	29.6	1,253,584	78.2	都市計画税	-	-	-	
普通交付税	1,253,584	27.2	1,253,584	78.2	水利地益税等	-	-	-	
特別交付税	108,980	2.4	-	-	法定外目的税	-	-	-	
震災復興特別交付税	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
(一般財源計)	1,709,960	37.1	1,600,980	99.9	合計	256,431	100.0	-	
交通安全対策特別交付金	-	-	-	-					
分担金・負担金	53,415	1.2	-	-					
使用料	36,911	0.8	1,153	0.1					
手数料	7,589	0.2	-	-					
国庫支出金	342,846	7.4	-	-					
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-					
都道府県支出金	125,529	2.7	-	-					
財産収入	18,091	0.4	-	-					
寄附金	421,918	9.2	-	-					
繰入金	358,300	7.8	-	-					
繰越金	113,043	2.5	-	-					
諸収入	49,875	1.1	1	0.0					
地方債	1,372,400	29.8	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち猶予特例債	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	-	-	-	-					
歳入合計	4,609,877	100.0	1,602,134	100.0					

歳入の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	46,847	1.0	-	46,847
総務費	1,680,078	36.9	344,847	575,094
民生費	475,312	10.4	2,405	310,584
衛生費	205,764	4.5	7,746	182,045
労働費	-	-	-	-
農林水産業費	111,049	2.4	31,307	22,625
商工費	71,514	1.6	-	46,128
土木費	280,475	6.2	254,881	79,016
消防費	88,093	1.9	-	88,093
教育費	1,293,370	28.4	995,288	209,306
災害復旧費	18	0.0	-	18
公債費	303,260	6.7	-	294,287
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	4,555,780	100.0	1,636,474	1,854,043

性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	891,056	19.6	715,170	696,706	43.5
人件費	496,882	10.9	393,849	378,934	23.7
うち職員給	245,041	5.4	171,177	-	-
扶助費	90,914	2.0	27,034	23,485	1.5
公債費	303,260	6.7	294,287	294,287	18.4
元利償還金	303,254	6.7	294,281	294,281	18.4
内 うち元金	292,585	6.4	283,612	283,612	17.7
内 うち利子	10,669	0.2	10,669	10,669	0.7
一時借入金利子	6	0.0	6	6	0.0
その他の経費	2,028,232	44.5	1,012,924	637,179	39.8
物件費	493,395	10.8	251,284	188,534	11.8
維持補修費	13,877	0.3	11,568	9,487	0.6
補助費等	717,951	15.8	431,130	336,591	21.0
うち一部事務組合負担金	320,185	7.0	319,385	297,797	18.6
繰出金	179,472	3.9	140,774	102,567	6.4
積立金	620,657	13.6	178,168	-	-
投資・出資金・貸付金	2,880	0.1	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	1,636,492	35.9	125,949	-	-
うち人件費	53,101	1.2	52,934	-	-
普通建設事業費	1,636,474	35.9	125,931	-	-
うち補助	395,010	8.7	26,415	-	-
うち単独	1,227,422	26.9	99,474	-	-
災害復旧事業費	18	0.0	18	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	4,555,780	100.0	1,854,043	-	-

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

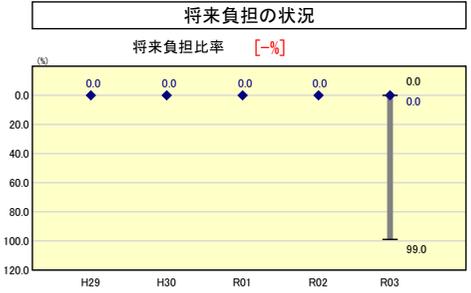


### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	2,553	人(R4.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	2,546	人(R4.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	6.53	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	3.2	%
歳入総額	4,609,877	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	4,555,780	千円	市町村類型	H29 I-O H30 I-O R01 I-O	
実質収支	45,450	千円	(年度毎)	R02 I-O R03 I-2	
標準財政規模	1,638,415	千円			
地方債現在高	3,968,856	千円			



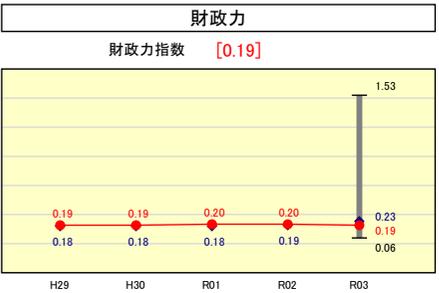
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレス指数」については、各調査対象年度の翌年の地方公務員給与実態調査に基づいているが、令和3年度は令和3年調査の数値を引用している。



類似団体内順位 1/94 全国平均 15.4 高知県平均 44.8

**将来負担比率の分析欄**

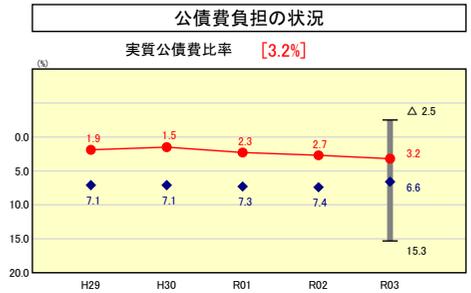
現在は、基金等の充当財源があるため、数値としては計上していない状況である。しかしながら、今後増加が予想される公債費や普通交付税の状況により数値の上昇も想定されることから、引き続き新規投資的経費の点検等を行っていく必要がある。



類似団体内順位 38/94 全国平均 0.50 高知県平均 0.25

**財政力指数の分析欄**

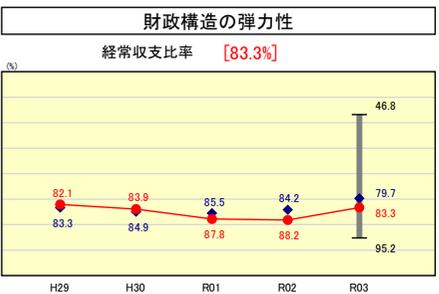
前年度と比較し指数は0.01ポイント減しており、主要税目である固定資産税の収入額が減となった。近年は、上ノ岡分譲事業等の効果により増収傾向であったが、一定事業が完了したことに伴い横ばい・微減になったと考えられる。引き続き、歳入面については、適正な課税と徴収強化に努めるとともに、歳出面における経常経費等の抑制に努めていく。



類似団体内順位 17/94 全国平均 5.5 高知県平均 9.8

**実質公債費比率の分析欄**

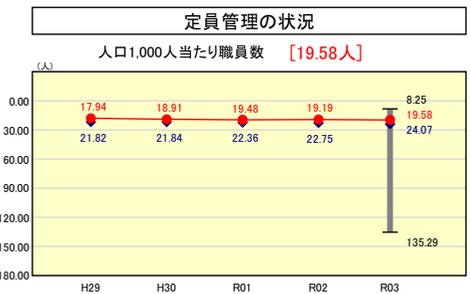
単年度比率は、令和2年度の単年度比率とほぼ変わらず横ばいとなっている。3か年平均では前年度比「+0.5ポイント」となっており、平成30年度の単年度比率の減が要因となっている。起債を主な財源とする大型事業に係る償還の際に比率が上がる事が想定されるため、繰上償還等も検討し当該比率の上昇抑制に努める。



類似団体内順位 55/94 全国平均 88.9 高知県平均 86.5

**経常収支比率の分析欄**

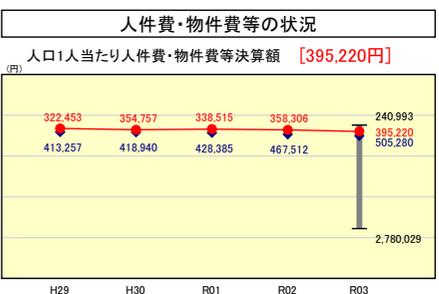
普通交付税の増加に加え、各種交付金などが増加したことで経常的収入総額が増額となっている。それに対し、歳出面では、人件費、補助費等が減少したことにより横ばい・微増となったことで、経常経費充当一般財源の総額では増であるが、前年度から4.9ポイント減少の83.3%となっている。引き続き歳出面における経常経費の削減に努めていく。



類似団体内順位 25/94 全国平均 8.21 高知県平均 11.01

**人口1,000人当たり職員数の分析欄**

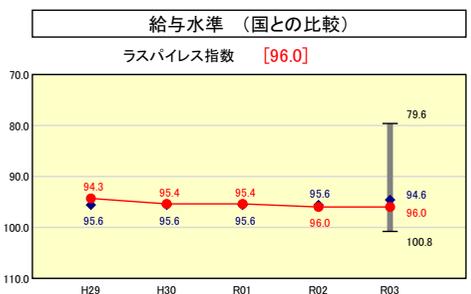
今年度については、前年度比「+0.39人」となり、近年は微増傾向にある。類似団体内平均値と比較すると少ないが、人口減少化においても、課題解決に向けた取り組みを実施する中で、一定の職員数は必要であり、引き続き、状況に応じた管理と適正化に努める。



類似団体内順位 25/94 全国平均 155,088 高知県平均 191,158

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**

前年度比「+36,914円」となっている。決算統計における人件費は前年度比△1.5%の7,325千円減となっており、物件費は+13.6%の59,044千円の増となっている。人件費の減については退職等によるもので、物件費については認定こども園及び給食センターに係る備品の購入やふるさと納税推進費の増によるものである。引き続き、効率的な行政サービスの提供を目指すとともに、人口減少抑制策を併せて努めていく。



類似団体内順位 63/94 全国市平均 98.8 全国町村平均 96.3

**ラスパイレス指数の分析欄**

令和3年度の数値は、前年度と同値であり、類似団体平均を上回っている。引き続き、給与の適正化に努めていく。

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和3年度

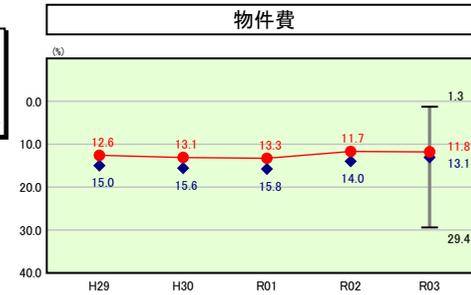
高知県田野町

## 経常収支比率の分析

人口	2,553	人(R4.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	2,546	人(R4.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	6.53	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	3.2	%
歳入総額	4,609,877	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	4,555,780	千円	市町村類型	H29 I-O H30 I-O R01 I-O	
実質収支	45,450	千円	(年度毎)	R02 I-O R03 I-2	
標準財政規模	1,638,415	千円			
地方債現在高	3,968,856	千円			

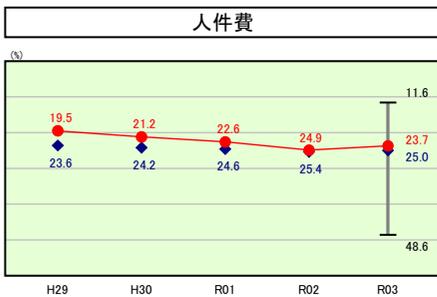


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



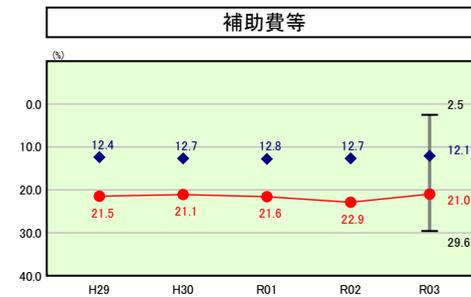
類似団体内順位 38/94 全国平均 13.8 高知県平均 10.9

**物件費の分析欄**  
 前年度比「+0.1ポイント」となっている。特定財源の繰入金等の微減などが要因となっている。  
 引き続き、システムや関連機器の運用方法や更新時期にあわせた変更を行い、経費抑制に努めていく。



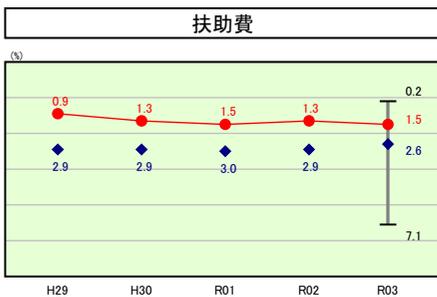
類似団体内順位 34/94 全国平均 25.2 高知県平均 24.5

**人件費の分析欄**  
 前年度比「△1.2ポイント」となっている。  
 主な要因は、職員減によるものであるが、当町は職員の平均年齢が若いこともあり、類似団体内数値より低くなっている。今後も人件費の一定の増加が想定されていることから、定員管理及び外部委託の検討などを行い経費抑制に努めていく。



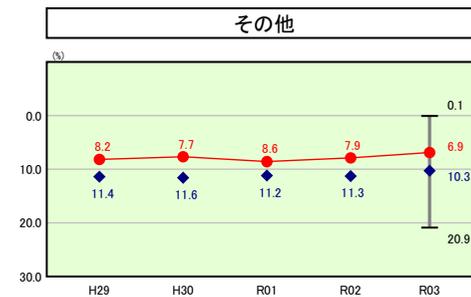
類似団体内順位 90/94 全国平均 10.2 高知県平均 9.6

**補助費等の分析欄**  
 当町を含め近隣5町村で構成する広域連合への負担金が経常経費として発生しているため類似団体と比較しても高い状況にある。  
 前年度比「△1.9ポイント」となっているが、広域連合への負担金の減などによるもの。  
 人件費や物件費は増加していくことが予想されるものであり、各種団体への補助金等も含め適正管理に努めていく。



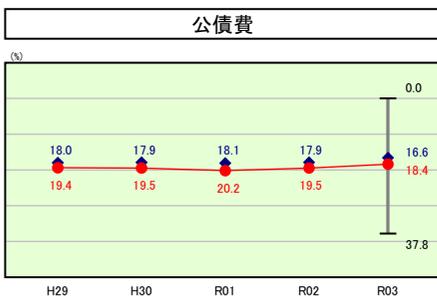
類似団体内順位 26/94 全国平均 12.0 高知県平均 9.7

**扶助費の分析欄**  
 前年度比「+0.2ポイント」となっている。  
 扶助費の主なものは医療費扶助や児童手当といったものであり、対象者数は今後も大きく増加していくことは想定していない。  
 引き続き、既存事業の見直しを含め費用抑制に努めていく。



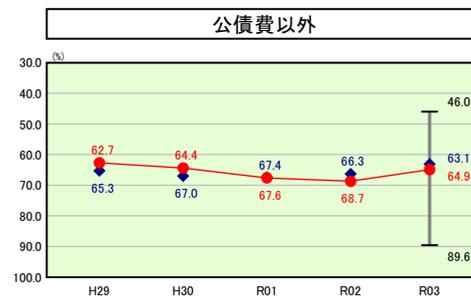
類似団体内順位 29/94 全国平均 12.0 高知県平均 13.3

**その他の分析欄**  
 前年度比「△1.0ポイント」となっている。主な要因は定額運用基金などへの繰出金が増に対し、経常的な繰出金の減が要因となっている。  
 今後については、簡易水道会計に係る地方債の償還見込が数年後ピークを迎えることから、繰上償還等も検討し、特別会計の適正運営についても努めていくものとする。



類似団体内順位 60/94 全国平均 15.7 高知県平均 18.5

**公債費の分析欄**  
 前年度比「△0.9ポイント」となっている。  
 公営住宅使用料が微増となったことによる。  
 今後、保育所・幼稚園高台移転事業等の大型事業に係る償還額の増による当該数値の上昇が予想される。引き続き繰上償還等を検討し公債費の適正管理に努めていく。



類似団体内順位 49/94 全国平均 73.2 高知県平均 68.0

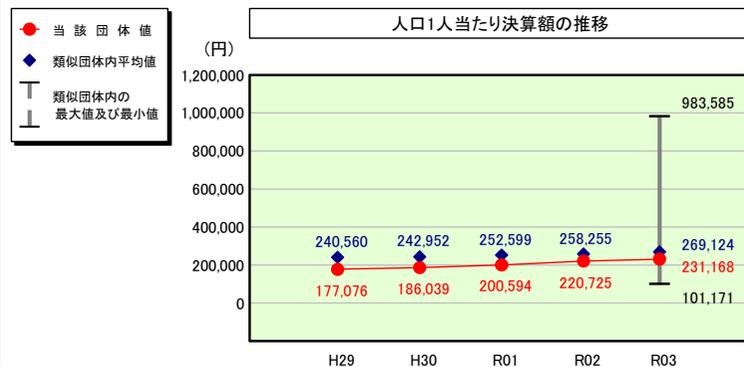
**公債費以外の分析欄**  
 前年度比「△3.8ポイント」となっており、職員給与や補助費、繰出金等の経常額の減が要因となっている。  
 今後についても既存事業の見直し等による経常経費の抑制を図るとともに、税収増などの自主財源確保に努めていく。

## (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和3年度

高知県田野町

### 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



### 人件費及び人件費に準ずる費用

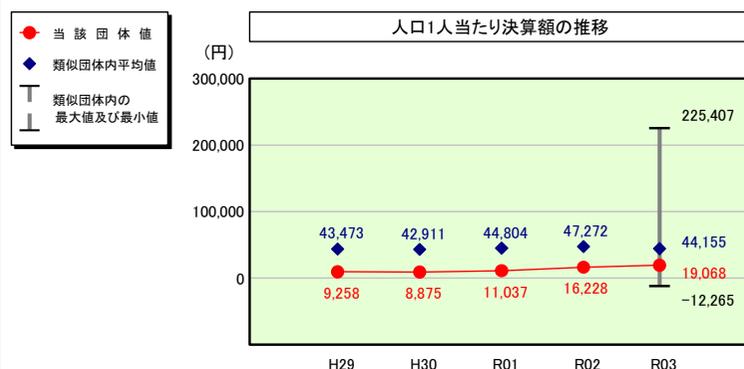
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	496,882	194,627	242,692	▲ 19.8
一部事務組合負担金(補助費等)	88,447	34,644	27,094	27.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	4,163	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	-	-	8,881	-
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	53,101	20,799	5,165	302.7
▲退職金	▲ 48,259	▲ 18,903	▲ 18,870	0.2
合計	590,171	231,168	269,124	▲ 14.1

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	19.58	24.07	▲ 4.49
ラスパイレス指数	96.0	94.6	1.4

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

### 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

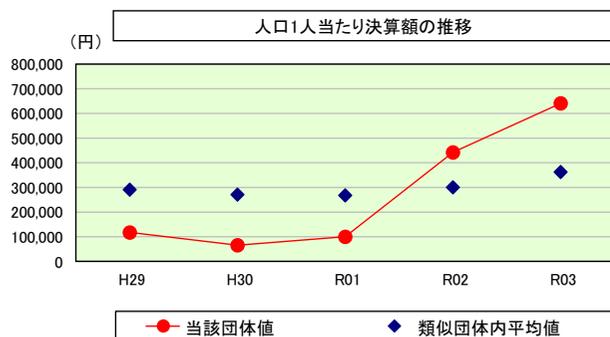


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	303,254	118,783	141,234	▲ 15.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	28,254	11,067	30,523	▲ 63.7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	3,909	1,531	4,602	▲ 66.7
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	937	-
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	14	-
▲特定財源の額	▲ 8,973	▲ 3,515	▲ 6,455	▲ 45.5
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 277,763	▲ 108,799	▲ 126,702	▲ 14.1
合計	48,681	19,068	44,155	▲ 56.8

※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

### (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H29	314,015	117,389	▲ 20.3	291,173	▲ 0.3	▲ 20.0
うち単独分	214,832	80,311	45.3	119,071	▲ 6.7	52.0
H30	173,284	65,539	▲ 44.2	271,581	▲ 6.7	▲ 37.5
うち単独分	100,927	38,172	▲ 52.5	117,844	▲ 1.0	▲ 51.5
R01	261,346	99,827	52.3	268,375	▲ 1.2	53.5
うち単独分	114,807	43,853	14.9	119,602	1.5	13.4
R02	1,152,655	442,308	343.1	301,035	12.2	330.9
うち単独分	802,438	307,919	602.2	154,376	29.1	573.1
R03	1,636,474	641,000	44.9	362,690	20.5	24.4
うち単独分	1,227,422	480,776	56.1	172,580	11.8	44.3
過去5年間平均	707,555	273,213	75.2	298,971	4.9	70.3
うち単独分	492,085	190,206	133.2	136,695	6.9	126.3

# (5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

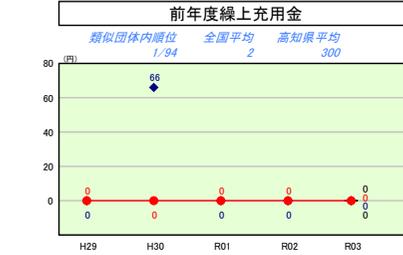
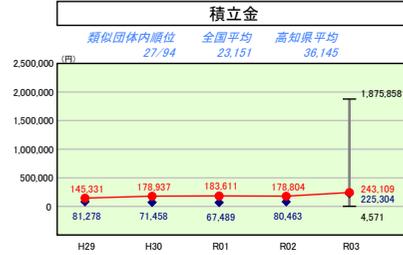
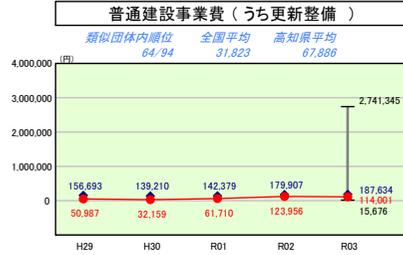
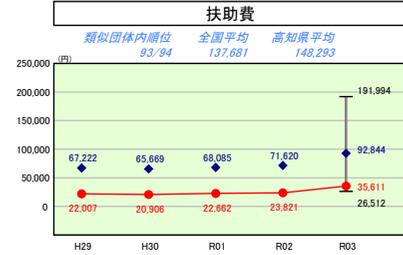
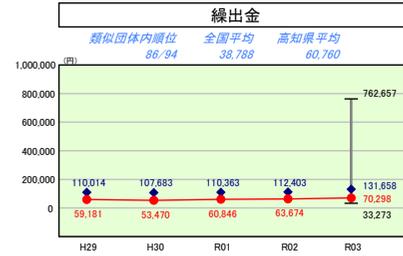
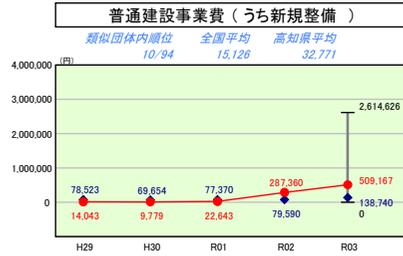
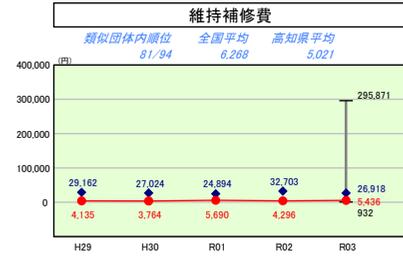
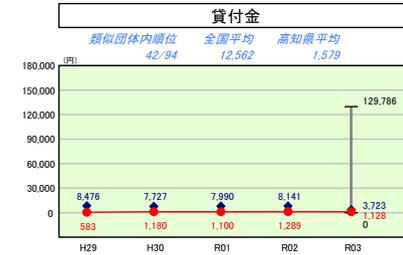
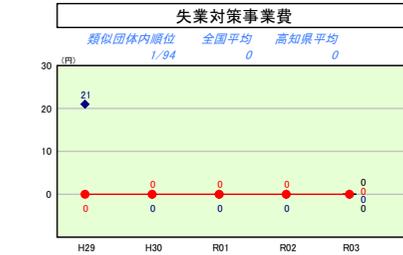
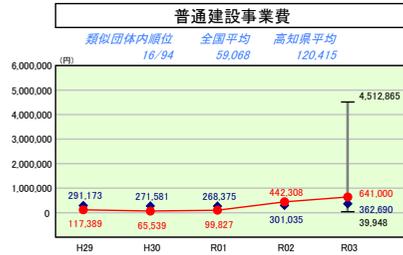
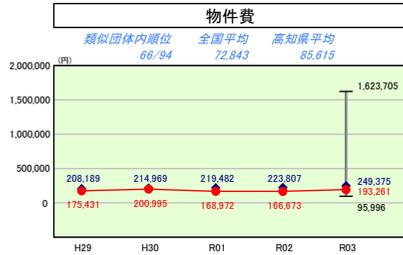
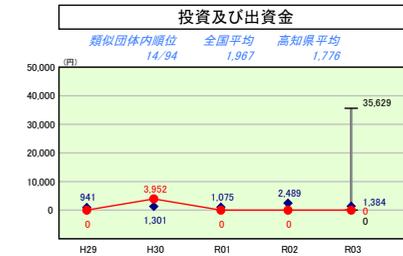
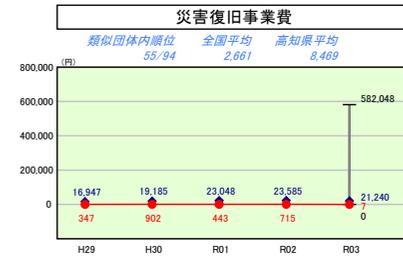
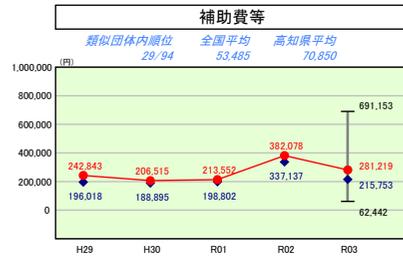
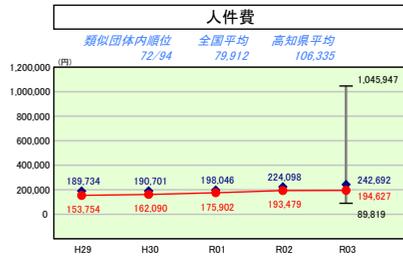
令和3年度

高知県田野町

人口	2,553人(R4.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	2,546人(R4.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	6.53km <sup>2</sup>	実質公債費比率	3.2%
歳入総額	4,609,877千円	将来負担比率	-%
歳出総額	4,555,780千円	市町村類型	H29 I-0 H30 I-0 R01 I-0
実質収支	45,450千円	(年度毎)	R02 I-0 R03 I-2
標準財政規模	1,638,415千円		
地方債現在高	3,968,856千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**性質別歳出の分析欄**  
 普通建設事業費が大幅に増加に対し補助費等が減少していることが特徴となっている。普通建設事業費については、幼保高台移転事業や防災センター整備事業などの大型事業があったことが影響している。一方で新型コロナウイルス感染症関係の補助金などの減少により100,859千円が減少した。  
 今後については、控えている大型事業(幼保高台移転事業)に係る公債費の増に備え繰上償還を検討していく必要がある。  
 人口については、前年度比「△2.0ポイント」となり、人口減少は進行している状況であり、今後も住民一人当たりの行政コストは高くなることから行政サービスの効率化を図っていく必要がある。

# (6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

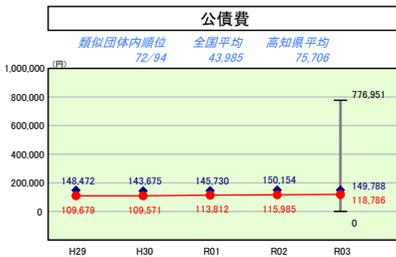
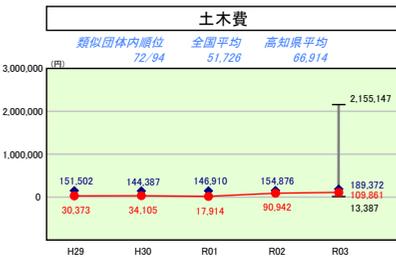
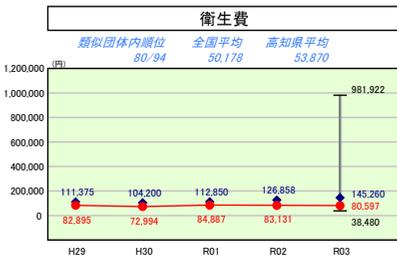
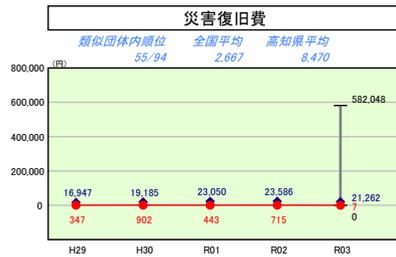
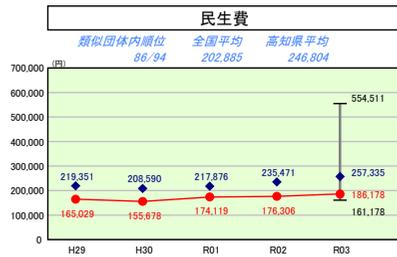
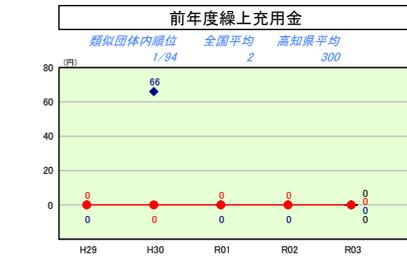
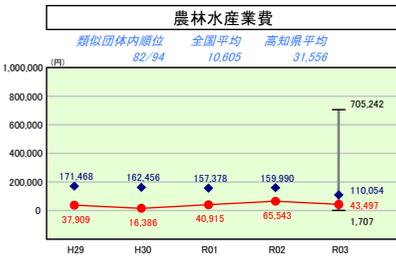
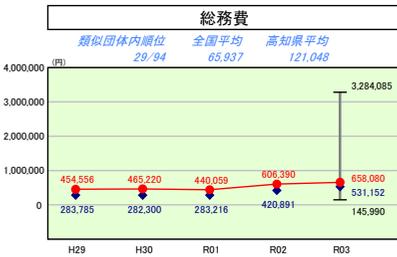
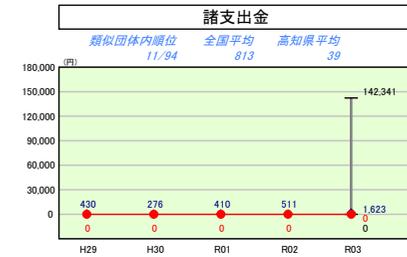
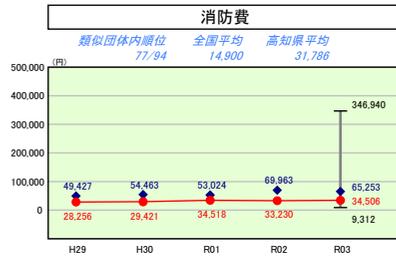
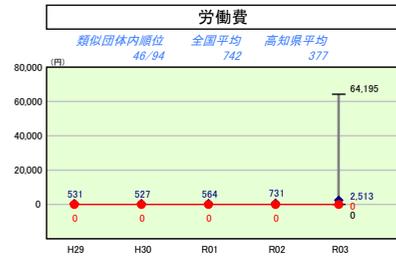
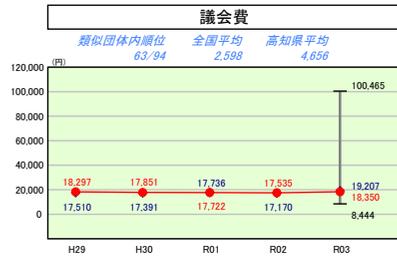
令和3年度

高知県田野町

人口	2,553人(R4.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	2,546人(R4.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	6.53km <sup>2</sup>	実質公債費比率	3.2%
歳入総額	4,609,877千円	将来負担比率	-%
歳出総額	4,555,780千円	市町村類型	H29 I-O H30 I-O R01 I-O
実質収支	45,450千円	(年度毎)	R02 I-O R03 I-2
標準財政規模	1,638,415千円		
地方債現在高	3,968,856千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



#### 目的別歳出の分析概

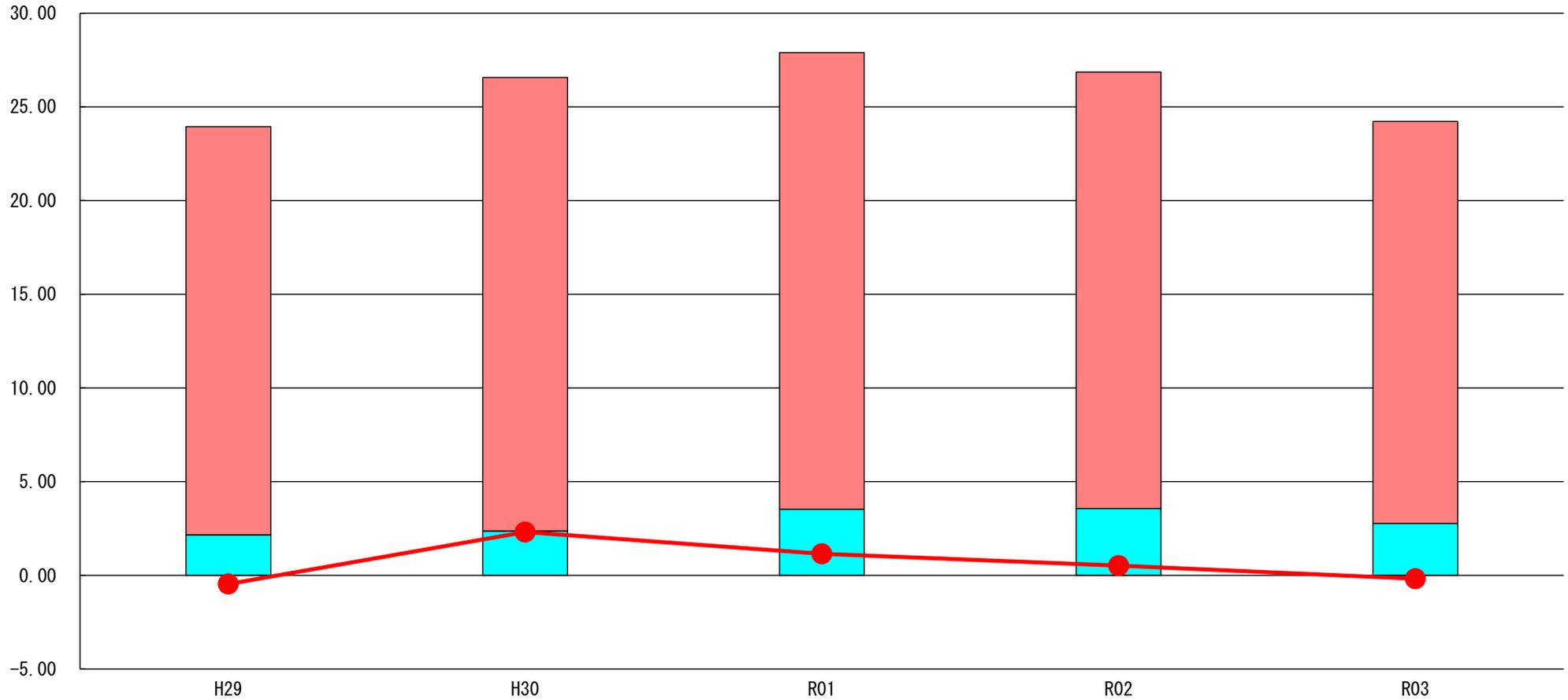
前年度比が大きく増加した項目は、「教育費」であるが、その要因は、「幼保高台移転事業」及び「給食センター整備事業」の実施によるものである。  
 一方で減少した項目は、「農林水産費」と「商工費」で、その要因は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る事業終了による減が主な要因となっている。

# (7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和3年度

高知県田野町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H29	H30	R01	R02	R03
 財政調整基金残高		21.79	24.20	24.37	23.29	21.46
 実質収支額		2.16	2.37	3.53	3.57	2.77
 実質単年度収支		▲ 0.46	2.31	1.15	0.52	▲ 0.18

分析欄

財政調整基金については、標準財政規模の小さな当町において元来残高が少額であったことから災害等の不測の事態に対する備えとして、標準財政規模比25%を目途として積み立てをしてきたところである。

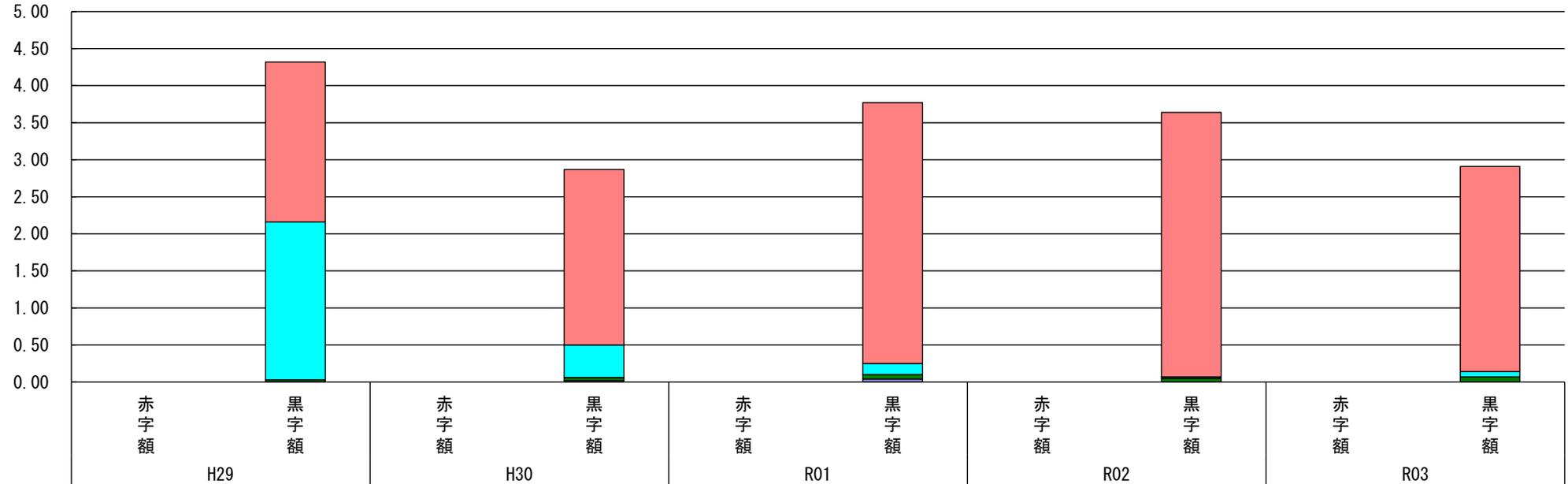
引き続き、標財規模比25%を積み立てるものとし適正管理に努めていく。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和3年度

高知県田野町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度	H29	H30	R01	R02	R03
会計					
一般会計	2.16	2.37	3.52	3.57	2.77
国民健康保険特別会計	2.13	0.44	0.15	0.02	0.07
簡易水道事業特別会計	0.03	0.04	0.06	0.05	0.07
後期高齢者医療特別会計	0.00	0.02	0.04	0.00	0.00
その他会計（赤字）	-	-	-	-	-
その他会計（黒字）	-	-	-	-	-

分析欄

一般会計では前年度比「△0.8ポイント」となっている。これは実質収支額が前年度比△7,771千円の減額になったことと、普通交付税増加による標準財政規模が増加したことによるものである。その他特別会計においては、前年度と同水準の比率で推移している状況である。

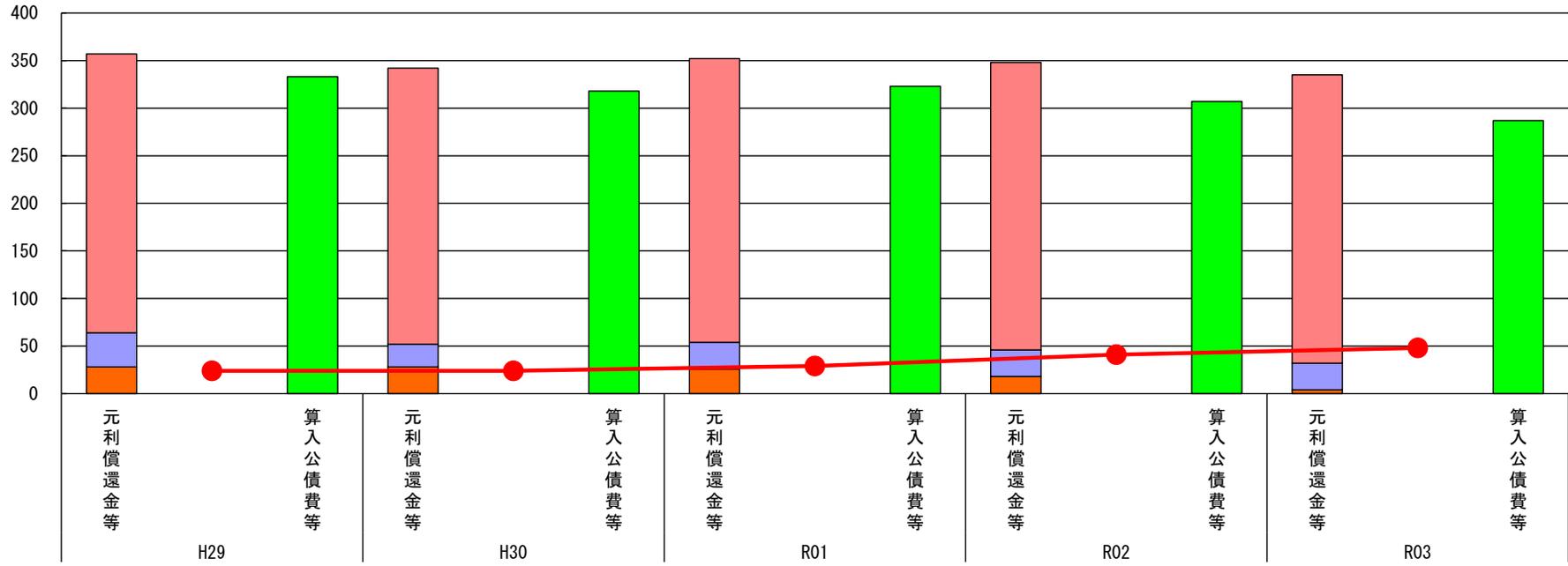
※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和3年度

高知県田野町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H29	H30	R01	R02	R03
元利償還金等 (A)	元利償還金		293	290	298	302	303
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		36	24	28	28	28
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		28	28	26	18	4
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		333	318	323	307	287
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		24	24	29	41	48

分析欄  
 平成27年度に繰上償還を行い、元利償還金額は抑制されたが、平成29年度には防災対策による緊急防災・減債事業債にかかる元金償還が開始されたことにより実質公債費比率分子額は増加となっている。  
 今年度は元利償還金が微増したことから実質公債費比率の分子は増となっている。

※1 令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考)

(百万円)

※2 減債基金積立状況等		年度	H28末	H29末	H30末	R01末	R02末
減債基金積立状況等	減債基金残高(注)						
	減債基金積立相当額						

分析欄  
 該当なし

(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。

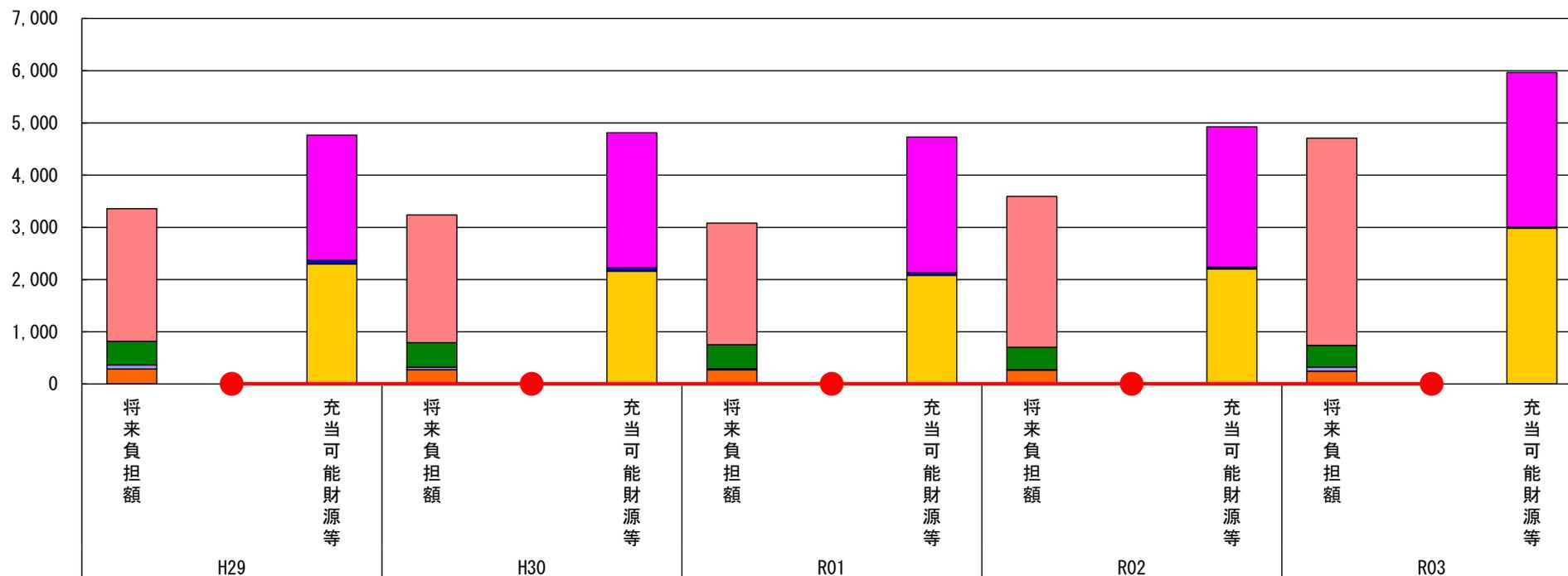
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和3年度

高知県田野町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H29	H30	R01	R02	R03
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		2,540	2,446	2,328	2,889	3,969
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		454	467	458	431	416
	組合等負担等見込額		78	51	26	8	77
	退職手当負担見込額		286	273	268	265	248
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		2,397	2,589	2,599	2,687	2,955
	充当可能特定歳入		72	61	49	37	28
	基準財政需要額算入見込額		2,299	2,163	2,083	2,201	2,981
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 1,410	▲ 1,575	▲ 1,651	▲ 1,331	▲ 1,256

分析欄

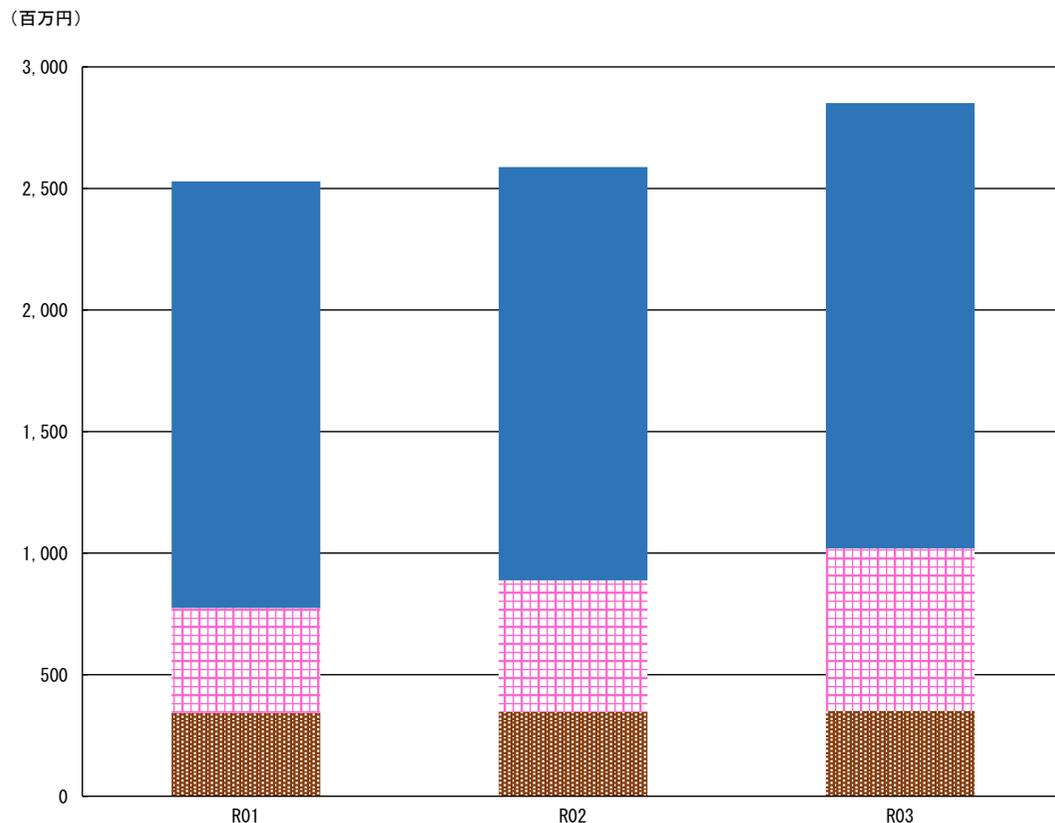
近年は一般会計等における地方債残高は減少傾向にあったが、大型事業に係る起債によりR3年度末残高では大幅な増額となった。

公営企業（簡易水道）において近年配水管の更新工事が実施され、繰入見込額が高い水準にある。今後も高い水準が引き続くことが想定されるため、水道料金の見直しを含め特別会計については留意していく必要がある。

また、ふるさと納税による基金の増加を主要因として、充当可能基金が増加傾向にあるが、引き続き経常経費の抑制とともに、自主財源の確保に努めていく。

※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



区分	年度	R01	R02	R03
その他特定目的基金	まちづくり基金	676	656	657
	ふるさと応援基金	314	465	592
	施設等整備基金	401	300	316
	防災対策加速化基金	121	104	91
	地域福祉基金	118	85	85
	基金残高合計	2,529	2,588	2,850

## 令和3年度 高知県田野町

**基金全体**

(増減理由)  
ふるさと納税推進事業により「ふるさと応援基金」に4.2億円全額を積立し、産業振興等の各種事業の実施に係る取崩しを行った。また、今後控えている幼保高台移転事業や住宅等各種施設に係る地方債償還額の増額を想定し「減債基金」に1.2億円を積立てし、「防災対策加速化基金」については、避難路緊急地震対策事業費補助金等の実施に係る取崩しを行った。

(今後の方針)  
・災害等の不測の事態に備えて、財政調整基金を標準財政規模の25%となるよう積み立てを行う予定。  
・住宅等の各種施設の更新時期が近付いていることから「施設整備基金」への積立及び今後の償還額の推移を注視し「減債基金」への積立や繰上償還を行う予定。

**財政調整基金**

(増減理由)  
前年度比「+5百万」の増となっている。

(今後の方針)  
・財政調整基金残高は、災害等の不足の事態に備えて、標準財政規模（1,638,415千円）の25%程度（409,604千円）を目標に毎年度計画的に積み立てを行う予定。

**減債基金**

(増減理由)  
前年度比「+126百万」の増となっている。  
大型事業「幼保高台移転事業」「防災センター整備事業」等大型事業に係る地方債償還額の増額が想定されるため、繰上償還財源として積み立てを行ったものである。

(今後の方針)  
・目標としていた額には、R3年度で達した。今後については、償還額の推移を注視し積立・繰上償還を検討していく。

**その他特定目的基金**

(基金の用途)  
・まちづくり基金：歴史、伝統、文化、産業等を活かし、独創的・個性的な地域づくりを推進する。  
・ふるさと応援基金：ふるさと寄附金制度に基づく寄附金を主たる財源として、寄附者の田野町への思いを具現化することによって、田野町が目指す将来像「人と自然と暮らしが輝く生活交流拠点のまち等」のふるさとづくりに資する  
・施設等整備基金：町の施設等の整備に要する財源を円滑に調整するため  
・防災対策加速化基金：地域の課題や特性に応じた優先的に取り組むべき防災対策をきめ細やかに進め、災害に強い地域社会の実現の加速化を図るため  
・地域福祉基金：地域のすべての人々が健康で生きがいを持ち、安心して過ごせるような、明るく活力のある長寿・福祉社会づくりを推進するため

(増減理由)  
・ふるさと応援基金：寄附金による増  
・防災対策加速化基金：避難路緊急地震対策事業費補助金等に係る充当による減

(今後の方針)  
・ふるさと応援基金：ふるさと納税推進事業の実施により、毎年2億円程度の積み立て予定  
・施設整備基金：住宅等の各種施設の更新時期が近付いていることから、毎年一定額を積み立て予定